

Pioneer

取扱説明書

Bluetooth / USB / チューナー メインユニット

MVH-7500SC



carrozzeria

■お客様登録のお願い

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。
登録は弊社ホームページにて可能です。以下URLにアクセスして登録を行ってください。

<http://pioneer.jp/support/members/>

なお、登録時に保証書に記載されている内容が必要になりますので、保証書をお手元にご用意ください。

弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、お客様登録をしていただいたお客様にいたします。

必ず登録をしていただきますようお願いいたします。

お買い上げいただきありがとうございます

- ▶ ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
- ▶ 本書は紛失しないよう車の中に保管してください。

安全上のご注意

(安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
	注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	注意(警告を含む)しなければならない内容です。		必ず行っていただく強制の内容です。
	禁止(やってはいけないこと)の内容です。		

AU-001-002

接続・取り付け



警告



禁止

本機は、DC12V \ominus アース車専用です

24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットは絶対に使用しない

これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



警告



強制

取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する

取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

作業前はバッテリーの⊖端子を外す

⊕と⊖経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。



警告



強制

必ず付属の部品を使用し、確実に固定する

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

説明書に従って接続・取り付けする

説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類は運転操作の妨げとならないように固定する

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない

内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない
落下などの原因となることがあります。

通風口や放熱板をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因となることがあります。

製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない

火災や感電の原因となることがあります。

電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

分岐配線をしない

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない

発煙や発火、故障の原因となることがあります。



強制

コードが金属部に触れないように配線する

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける

歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

使用方法



警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

メディア挿入口に手や指、異物を入れない

ケガや感電、火災や故障の原因となります。

液体で濡らさない

発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

リモコンなどを放置しない

停車した時やカーブを曲がる時に、リモコンなどが足もとに転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げになり、交通事故の原因となります。

画面が映らない、音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない

思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の危険性があります。



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア)のヒューズを使用する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

アンプの放熱部に手を触れない
やけどの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。



指のケガに
注意

モニターの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように
注意する
ケガの原因となることがあります。

電池は正しく使う

警告



強制

事故防止のため、電池は幼児の手の届かない場所に保管する

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

電池の極性(⊕、⊖)に注意し、表示通りに入れる

電池の極性を間違えると、破裂、液漏れなどにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。

電池の液漏れが発生した場合は

皮膚や衣服に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。目に入った時は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。



注意



禁止

電池をショートさせたり、分解・加熱をしたり、火や水の中に入れない

電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。

乾電池は充電しない

電池の破裂により、ケガの原因となることがあります。

指定以外の電池の使用や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

電池の破裂、液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。



強制

使いきった電池はすぐに交換する

液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。

リモコンは、直射日光・高温・多湿の場所を避けて保管する
ケースの変形、内部電池の破裂や液漏れの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ



警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

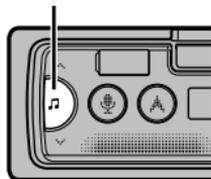
ポイントガイド

本機でよく使う操作や、お問い合わせの多い操作について説明します。

ソース(音源)を切り換える

電源ONのとき、**♪ボタン**を押すたびに切り換わる、ラジオやUSB 機器などの音源を本書ではソースと呼んでいます。

♪ボタン



Bluetooth

Bluetooth 機器を本機に接続し、ワイヤレスで音楽を聴いたり、ハンズフリー通話したりできます。

Bluetooth 機器を接続する

最初に Bluetooth 機器を本機に登録します。

Bluetooth 機器の登録は、接続する機器側から本機を検出して行います。

Bluetooth 機器を本機に登録し、接続します。

BT AUDIO ソースをご利用の場合は、手順 1～4 は不要です。手順 5 から開始してください。

1. ■ボタンを長く押し、[MENU] を表示する
2. >ボタンを押し [SYSTEM] を選び、■ボタンを押す
3. >ボタンを押し [APP CTL] を選び、■ボタンを押す
4. >ボタンを押し [BT] を選び、■ボタンを押す
5. iPhoneまたはスマートフォン (Android) のBluetooth設定を、オンにする
6. iPhoneまたはスマートフォン (Android) に表示されている接続先から、本機を選択する
7. 本機とBluetooth機器に表示される6桁の数字が同じことを確認する
8. 本機の6桁の数字の横に [Y] が表示されていることを確認し■ボタンを押す
9. Bluetooth機器側で [YES] を選びペアリングする

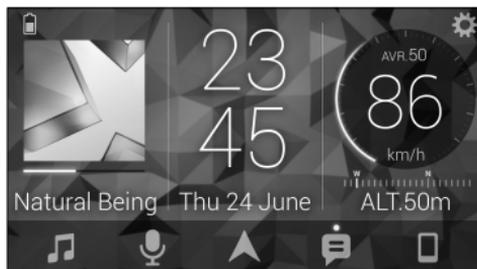
Bluetooth機器側でパスコードの入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

Pioneer Smart Syncを利用する

Pioneer Smart Syncをスマートフォン (Android) やiPhoneにインストールして、本機を操作することができます。

Pioneer Smart Syncでは以下のような操作ができます。

以下の画面と操作は一例です



- 本機のソースを選ぶ
- 本機でiPhoneまたはスマートフォン (Android) の音楽を聴く
- 本機の音質を調整する
- 本機のイルミネーション色を設定する
- 本機に登録しているBluetooth機器を操作する

Pioneer Smart Syncと接続することにより、以下のような操作や機能の設定が可能になります。

- ナビゲーション
iPhoneまたはスマートフォン (Android) にインストールしたナビゲーションアプリを起動することができます。
- メッセージの読み上げ
iPhoneまたはスマートフォン (Android) のアプリで受信したメッセージを読み上げることができます。
- 31バンドのイコライザー設定
- ダイナミックな低音を再現する Super 'Todoroki' Soundの設定
- Easy Sound Fit
車種に応じたタイムアライメント設定ができます。
- テーマ設定
画面、表示文字、操作キーに合わせた色や画面の壁紙を設定できます。



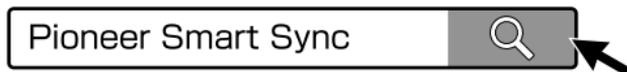
- 上記の設定は一例です。お使いのiPhoneやスマートフォン (Android) にインストールされているアプリケーションの状況によっては設定できない場合もあります。
- 31バンドのイコライザー設定は、APPソースを選択してiPhoneまたはスマートフォン (Android) を利用するときには有効です。他のソースを利用するときには、13バンドのイコライザーに変換されます。

Pioneer Smart Syncをインストールする

Pioneer Smart Syncは、Google Play™ (Google Play ストア) または App Storeからダウンロードしてください。



検索キーワードを入力する場合は、「Pioneer Smart Sync」と入力することをお勧めします。



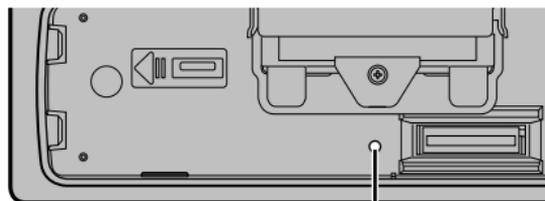
- iPhoneをお使いの場合はiOS 10.3以上の搭載が必要です。
- スマートフォン (Android) をお使いの場合はAndroid OS 5.0以上の搭載が必要です。

本機をリセットする

次のような場合、フロントパネルを取り外し、8mm 以上の細い器具 (爪楊枝など) でリセットボタンを押して本機をリセットしてください。

- 接続が終わったあと。
- 本機が正しく動作しないとき。
- ディスプレイが正しく表示されないとき。

リセット後は、フロントパネルを取り付けてください。



リセットボタン

目次

ポイントガイド	11
ソース(音源)を切り換える	11
Bluetooth.....	11
Bluetooth機器を接続する	11
Pioneer Smart Syncを利用する	12
Pioneer Smart Syncをインストールする	14
本機をリセットする.....	15
各部の名称と機能	20
本体.....	20
リモコン.....	22
ご使用になる前に	24
バッテリー上がりを防ぐために	24
スマートフォンホルダーの使いかた.....	24
スマートフォンホルダーを準備する	25
スマートフォンホルダーを前後方向に調整する.....	26
スマートフォンホルダーに取り付ける	27
スマートフォンホルダーを調整する.....	29
スマートフォンホルダーから取り外す	30
スマートフォンホルダーを収納.....	31
共通操作	32
ソース切り換え.....	32
ファンクションメニューの操作	33
操作や設定が終了したら	33

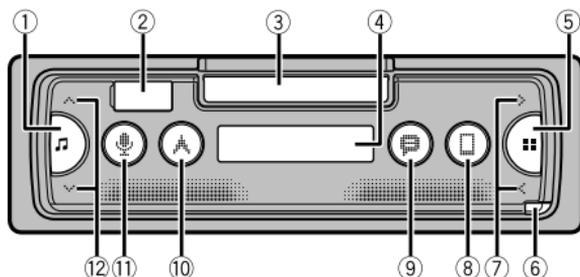
音楽を聴く【USB】【iPhone】	34
曲/フォルダー/ファイルの操作.....	35
USBソースを選択した場合.....	35
iPhoneソースを選択した場合.....	35
ラジオを聞く【RADIO】	36
放送局を選択してラジオを聞く	36
複数の放送局を自動的に登録する.....	36
選局ボタンの動作を設定する	37
Pioneer Smart Sync【APP】を利用する	38
Pioneer Smart Syncをインストールする	38
接続方法を設定する	39
接続する	40
USBケーブルで接続する.....	40
Bluetoothで接続する	40
iPhoneまたはスマートフォン(Android)の音楽を聴く	40
Bluetooth機器を使う	41
Bluetooth機器の接続	41
音楽を聴く	42
携帯電話でハンズフリー通話する.....	43
電話に出る・電話を切る	44
音声認識機能を使う	45
初期設定【INITIAL】	46
初期設定メニューを切り換える	46

システム設定【SYSTEM】	48
システムメニューを切り換える	48
音の調節【AUDIO】	51
オーディオメニューを切り換える.....	51
イルミネーション機能を使う	54
イルミネーションメニューを切り換える.....	54
接続／取り付け	56
接続／取り付け上のご注意	56
接続／取り付け部品を確認する	56
取り付けの前に知ってほしいこと.....	57
接続の前に知ってほしいこと	60
接続する.....	62
本機のスピーカーリード線にリアスピーカーを接続する場合.....	62
本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合(1)	64
本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合(2)	65
本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合(3)	66
本体を取り付ける.....	67
動作を確認する.....	69
フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた.....	69
ハンズフリー用マイクの取り付け.....	71
付録	74
再生可能なメディアとファイルについて	74
メディア内のフォルダー構成について	76
USB 機器について	77
本機との接続について	77
保管上のご注意.....	78

iPhoneについて	78
本機が対応するiPhone.....	78
故障かな？と思ったら.....	80
共通項目	80
ラジオ	81
BT AUDIO.....	82
こんなメッセージが表示されたら.....	83
共通のエラー表示.....	83
USBのエラー表示.....	83
APPのエラー表示.....	85
iPhoneのエラー表示.....	85
Bluetoothのエラー表示	86
システムのエラー表示.....	86
保証書とアフターサービス	87
保証書	87
保証期間	87
修理について.....	87
補修用性能部品の最低保有期間.....	88
ご質問、ご相談は.....	88
商標／著作権など.....	88
主な仕様.....	93

各部の名称と機能

本体



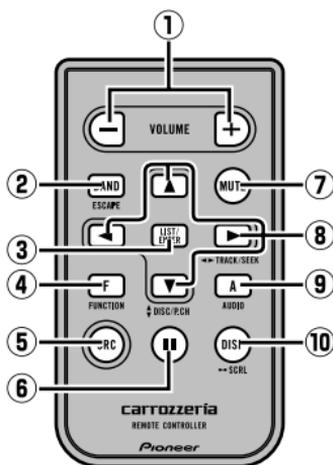
名称	機能
① ♪ ボタン	押すと電源がONになります。 押すごとにソースが切り換わります。 長く押すとOFFになります。
② USB ポート	USB 機器やiPhone、Android™ 機器を接続します。
③ スマートフォンホルダー	iPhoneまたはスマートフォン (Android) を取り付けるホルダーが収納されています。
④ ディスプレイ	選択しているソース名、メニュー名など各種情報を表示します。
⑤ ■■ ボタン	電源をONにしている場合の機能は、各ソースの説明をご覧ください。 電源をOFFにしているときに押すと、ディスプレイとボタンが消灯します。 長く押すとメニューを表示します。 メニュー表示時に押すと、表示内容を決定します。
⑥ デタッチボタン	フロントパネルが外れます。

名称	機能
⑦ </> ボタン	<p>メニュー表示時： >ボタンを押すとメニュー項目を切り換えます。 <ボタンを押すと前の表示に戻ります。 <ボタンを長く押すと通常の表示に戻ります。</p> <p>通常表示時： </>ボタンをラジオソース時に押すと、周波数を手動で選局し、押すたびに周波数を送ります。 </>ボタンをラジオソース時に長く押すと、受信可能な放送局が見つかるまで自動で周波数を送ります。押し続けると、途中の放送局を飛ばし、離れたところから自動選局を開始します。 </>ボタンをTI (交通情報受信) ソース時に押すと、1 620 kHz / 1 629 kHzが切り換わります。</p>
⑧ □ ボタン	<p>ペアリング機器がある場合に押すと、デバイスリストを表示します。 Pioneer Smart Sync 接続可能時に長く押すと、接続を開始します。</p>
⑨ 𠂆 ボタン	<p>Pioneer Smart Sync 接続時： iPhoneまたはスマートフォン (Android) のメッセージアプリを起動し、通知されたメッセージを読み上げます。 Pioneer Smart Sync 非接続時： 押すと、Pioneer Smart Syncを接続案内する [CNCT APP] のメッセージが表示されます。</p>
⑩ ▲ ボタン	<p>Pioneer Smart Sync 接続時： iPhoneまたはスマートフォン (Android) のNAVI アプリを起動します。 Pioneer Smart Sync 非接続時： Pioneer Smart Syncを接続案内する [CNCT APP] のメッセージが表示されます。</p>
⑪ 🗣️ ボタン	<p>押すと、iPhoneまたはスマートフォン (Android) の音声認識機能を起動します。</p>

名称	機能
⑫ へ/∨ ボタン	音量の調整ができます。 ∨ボタンを長く押しと、システムメニューの設定に合わせ、ATTまたはMUTEになります。

リモコン

別売のリモコン「CD-R500」で、本機を操作できます。
別売のリモコンの取り扱いについては、リモコンの説明書をお読みください。



CD-R500 (別売)

名称	機能
① VOLUME ボタン	音量を調整します。

名称	機能
② BAND/ESC ボタン	ラジオ受信時: バンドを切り換えます。 BT AUDIO再生時: 再生画面で押すと、再生が始まります。 USB再生時: 長く押すと、フォルダー01 (ROOT)に戻ります (MSC接続時のみ)。
③ LIST/ENTER ボタン	本体の⑤と同じ働きをします。
④ FUNCTION ボタン	FUNCTIONメニューを表示できるソースのときに押すと、FUNCTIONメニューを表示します。
⑤ SRC (SOURCE) ボタン	本体の①と同じ働きをします。
⑥  (ポーズ) ボタン	再生の一時停止します、 もう一度押すと、再開します。
⑦ MUTE ボタン	車内の会話が聞き取りにくいときに、消音することができます。 もう一度押すと、解除されます。
⑧  /  /  /  ボタン	 ボタンは本体の> ボタンと同じ働きをします。  ボタンは、1つ前の画面に戻ります。  ボタンは、1つ前の曲に戻ります。  ボタンは、本体の⑤と同じ働きをします。
⑨ AUDIO ボタン	AUDIOメニューを表示します。
⑩ DISP/SCRL ボタン	使用できません。

ご使用になる前に

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。
また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチをON(またはACC)にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。

スマートフォンホルダーの使いかた



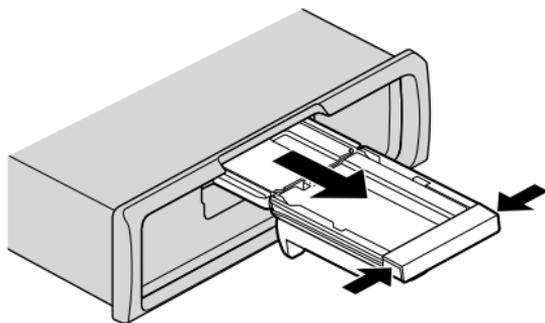
- 道路状態の悪い場所を走行する場合は、iPhoneまたはスマートフォン(Android)をスマートフォンホルダーから取り外してください。iPhoneまたはスマートフォン(Android)がスマートフォンホルダーから落下する場合があります。
- iPhoneまたはスマートフォン(Android)をスマートフォンホルダーに取り付けたまま車内に放置しないでください。
- iPhoneまたはスマートフォン(Android)を無理にスマートフォンホルダーに取り付けないでください。
- 運転中にiPhoneまたはスマートフォン(Android)を操作しないでください。
- iPhoneまたはスマートフォン(Android)をスマートフォンホルダーに取り付け/取り外しする場合は、スマートフォンホルダーに手や指などを挟まないように注意してください。
- 車種によっては、スマートフォンホルダーがハザードボタンやエアコン操作ボタン当たってしまう場合があります。このようなときは、スマートフォンホルダーを使わないでください。

スマートフォンホルダーを準備する

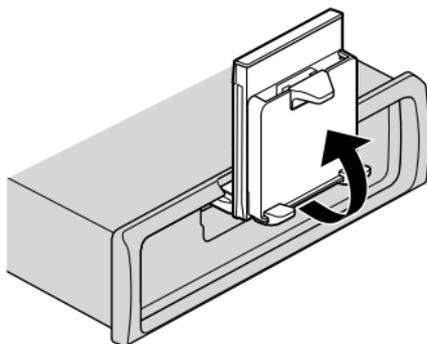
1. デタッチボタンを押して、フロントパネルを取り外す
2. スマートフォンホルダーの両端（滑り止め部）を持ち、スマートフォンホルダーを引き出す



- スマートフォンホルダーを完全に引き出すまで、ホルダー部分を立ち上げないでください。

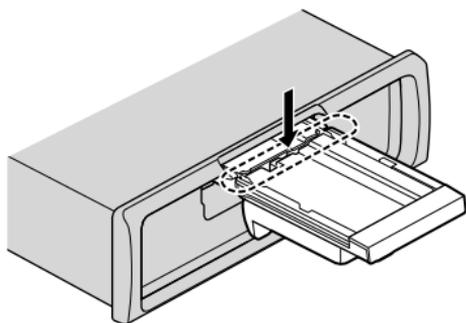


3. スマートフォンホルダーを上方向に立ち上げる





- スマートフォンホルダーは、以下の矢印部分が完全に見える位置まで引き出し、立ち上げてください。



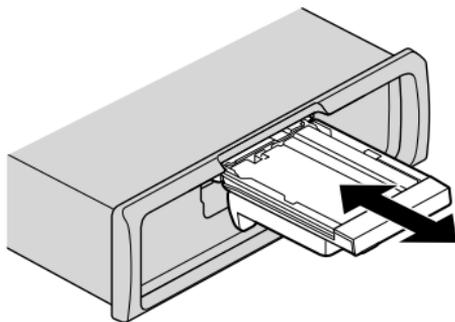
4. フロントパネルを取り付ける

スマートフォンホルダーを前後方向に調整する

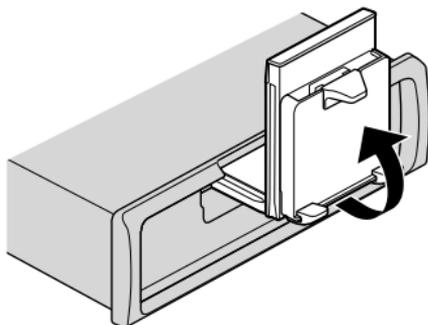
1. スマートフォンホルダーを引き出したら、前後方向に動かす



- スマートフォンホルダーの位置を調整するときは、iPhoneまたはスマートフォン(Android)をスマートフォンホルダーから取り外してください。



2. スマートフォンホルダーを立ち上げる。



スマートフォンホルダーに取り付ける

iPhoneまたはスマートフォン(Android)のサイズによっては、スマートフォンホルダーに取り付けできない場合があります。

取り付け可能サイズは以下のとおりです。

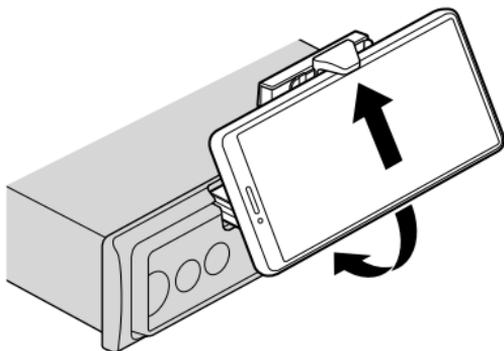
高さ:58 mm ~ 170mm

横幅:58 mm ~ 87mm

厚さ:4 mm ~ 10mm

重量:0.25 Kg 以下

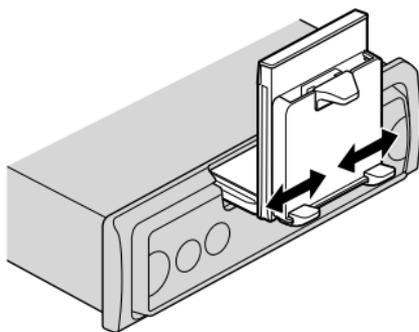
1. スマートフォンホルダーの上部のアームを持ち上げ、iPhoneまたはスマートフォン(Android)を上部と下部のアームの間に固定する



2. iPhoneまたはスマートフォン(Android)の操作ボタンをスマートフォンホルダーが押している場合は、スマートフォンホルダー下部のアームを調整する



- iPhoneまたはスマートフォン(Android)取り付け後は、正しく取り付けられていることを確認してください。
- スマートフォンホルダー下部のアームを調整しても、iPhoneまたはスマートフォン(Android)の操作ボタンをスマートフォンホルダーが押している場合は、iPhoneまたはスマートフォン(Android)の上下を逆に、再度取り付けてください。



スマートフォンホルダーを調整する

■スマートフォンホルダーの角度を調整する

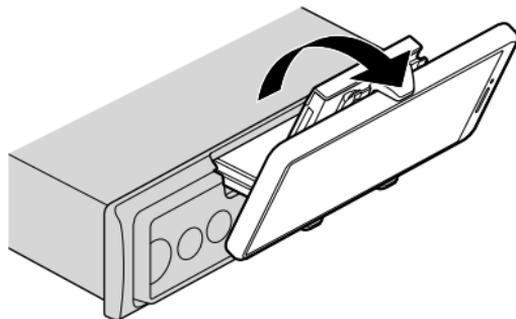
スマートフォンホルダーの角度の調整幅は以下のとおりです。

下向き:45°

上向き:100°



- 以下のような場所にはスマートフォンホルダーを取り付けしないでください。
 - 車両のスイッチやパネルに干渉する場所
 - 運転の妨げになる場所



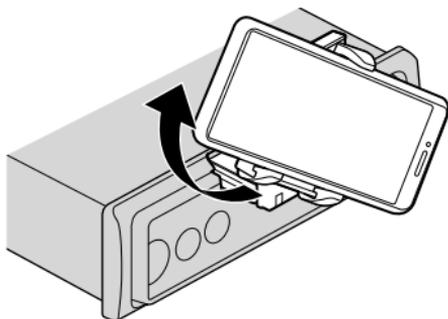
■スマートフォンホルダーの向きを調整する

スマートフォンホルダーを横向きから縦向きにする場合は、右回りに90°回転させます。

縦向きから横向きにする場合は、左回りに90°回転させます。



- iPhoneまたはスマートフォン(Android)をスマートフォンホルダーに取り付けたまま回転させる場合は、iPhoneまたはスマートフォン(Android)を落とさないように注意してください。

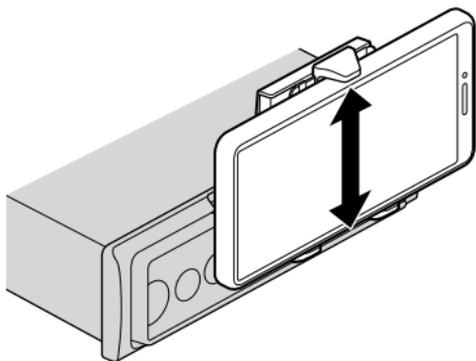


スマートフォンホルダーから取り外す

1. スマートフォンホルダーの上部のアームを持ち上げ、iPhoneまたはスマートフォン (Android) をアームから取り外す

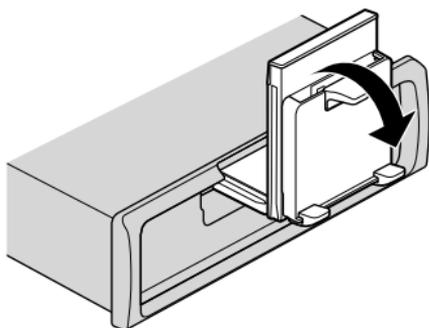


- スマートフォンホルダーからiPhoneまたはスマートフォン (Android) を取り外すときには、落とさないように注意してください。
- アームを持ち上げない状態のまま、iPhoneまたはスマートフォン (Android) をねじって取り外さないでください。

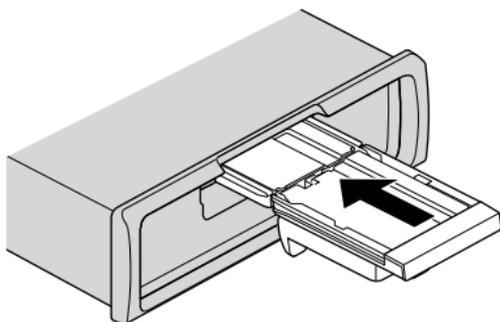


スマートフォンホルダーを収納

1. デタッチボタンを押して、フロントパネルを取り外す
2. スマートフォンホルダーを水平になるまで下向きに倒す



3. スマートフォンホルダーを本機に押し込む



4. フロントパネルを取り付ける

共通操作

ソース切り換え

ソースとは、**♪**ボタンを押すと切り換わる、USBやラジオなどの音源のことです。

切り換えられるソースは以下の通りです。

- RADIO (FM/AM)
- APP
- USB
- iPhone (iPod)
- TI (交通情報)
- BT AUDIO



- iPhoneまたはスマートフォン (Android) をUSBまたはBluetooth接続した場合にPioneer Smart Syncを利用するソースは、APPソースです。
- iPhoneをUSBまたはBluetooth接続した場合に利用するソースは、iPhoneソースです。
- スマートフォン (Android) をUSB接続した場合に利用するソースは、USB (AOA) ソースです。

1. **♪**ボタンを押して、本機の電源をONにする
2. **♪**ボタンを押して、ソースを切り換える

ファンクションメニューの操作

現在選択中のソースに応じた便利な機能を使うことができます。
Pioneer Smart Sync 接続中は、本機のボタンでメニュー表示はできません。
Pioneer Smart Sync 接続中は、Pioneer Smart Syncの画面で操作してください。

1. ■ボタンを長く押し、[MENU] を表示する
2. >ボタンを押して [FUNCTION] を選び、■ボタンを押す
3. >ボタンを押して機能を選び、■ボタンを押す
決定または設定値が変更されます。

機能名	動作内容
BSM	ラジオの受信状態の良い放送局を自動でさがして登録できます。登録された放送局は、手軽に受信できます (👉 P36)。
SEEK	RADIO ソース時の</>ボタン動作を設定できます (👉 P37)。
SEL DEV	接続する機器を選びます。



- ソースにより使用できる機能は異なります。

操作や設定が終了したら

操作や設定が終了したら、<ボタンを長く押ししてください。
通常の表示に戻ります。

音楽を聴く【USB】 【iPhone】

■ USB機器の使用について

- スマートフォン (Android) は、付属のケーブルを使って接続します。ただし、接続した機器、機器に保存してあるファイル数やオーディオファイルによっては、再生できない場合があります。
- 本機は、接続されたUSB 機器から情報を読み取ります。この間、画面には、「READING」と表示されます。USB 機器の情報量によっては、再生までに時間がかかる場合があります。
- USB 機器にバッテリー充電機能がある場合、エンジンスイッチがACCまたはONになっているときにUSB 機器のバッテリーが充電されます。
- USB 機器を接続したまま、電源をOFFにしたり他のソースに切り換えることができます。
- USB 機器は、いつでも取り外すことができます。
- USB 機器を取り外すことで、再生を終了することもできます。
- USB 機器は、USBポートのカバーを開けて接続してください。

■ iPhoneの使用について

- 本機に接続する前に、iPhoneからヘッドホンを外してください。
- iPhoneを使用するときのご注意やiPhoneの設定については、P78をご覧ください。
- iPhoneを接続したまま、他のソースに切り換えることができます。
- iPhoneは、いつでも取り外すことができます。
- エンジンスイッチがACCまたはONになっている場合、iPhoneのバッテリーが充電されます。

曲/フォルダー/ファイルの操作

Pioneer Smart Sync非接続時のフォルダーやファイルの選択方法は以下のとおりです。

Pioneer Smart Sync接続時は、Pioneer Smart Syncを操作して、フォルダーやファイルを選択してください。

USB ソースを選択した場合

■ MSC 接続時:

- ■ボタンを押すと、次のフォルダーに変わります。
- </>ボタンを押すと、前後のファイルに変わります。
- </>ボタンを長く押すと、早送りまたは早戻しすることができます。

■ AOA 接続時:

- </>ボタンを押すと、前後のファイルに変わります。



- フォルダーの選択操作はできません。
- 早送りまたは早戻しはできません。

iPhone ソースを選択した場合

- </>ボタンを押すと、前後の曲に変わります。
- </>ボタンを長く押すと、早送りまたは早戻しすることができます。

ラジオを聞く【RADIO】

放送局を選択してラジオを聞く

手動で周波数を切り換え、放送局を探します。

1.  ボタンを押し、[RADIO]を選択する
2.  ボタンを押し、FM-1/FM-2/AM-1/AM-2を選択する
3.  ボタンを押し、放送局を探す



- 本機のアンテナコントロール線の接続状態によっては、ラジオが受信できない場合があります。
- ファンクションメニューの[SEEK]を[P.CH]に設定しておく、 ボタンを押すごとに受信可能な放送局を探することができます。

複数の放送局を自動的に登録する

バンドごとに受信状態の良い放送局を6局登録できます。

1.  ボタンを押し、[RADIO]を選択する
2.  ボタンを押し、バンドを選択する
3.  ボタンを長く押し、[MENU]を表示する
4.  ボタンを押し、[FUNCTION]を選び、 ボタンを押し
5.  ボタンを押し、[BSM]を選び、 ボタンを押し



- 受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、前に登録した内容が残ることがあります。

選局ボタンの動作を設定する

登録した放送局（プリセットチャンネル）を</>ボタンで選ぶ場合は、ファンクションメニューで動作を設定します。

- ♪ボタンを押し、[RADIO]を選択する
- ボタンを長く押し、[MENU]を表示する
- >ボタンを押して [FUNCTION] を選び、■ボタンを押す
- >ボタンを押して [SEEK] を選び、■ボタンを押す
- >ボタンを押し、設定を切り換える

機能名	動作内容
MANUAL	手動で選局する。
P.CH	登録した放送局を選局する。

Pioneer Smart Sync 【APP】を利用する

Pioneer Smart Syncとは、iPhoneやスマートフォン(Android)にインストールするアプリケーションソフトです。

Pioneer Smart Syncから本機の設定や、より詳細な機能の設定が可能になります。

Pioneer Smart Syncを接続するためには、以下のステップが必要です。

Step1：iPhoneまたはスマートフォン(Android)にPioneer Smart Syncをインストールする。

Step2：本機とiPhoneまたはスマートフォン(Android)の接続方法を設定する。

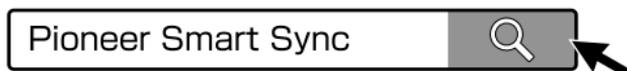
Step3：本機とiPhoneまたはスマートフォン(Android)を接続する。

Pioneer Smart Syncをインストールする

iPhoneまたはスマートフォン(Android)にインストールしたPioneer Smart Syncを使って本機を操作することができます。操作方法について詳しくは、Pioneer Smart Syncのヘルプをご覧ください。

Pioneer Smart Syncは、Google Play™(Google Playストア)またはApp Storeからダウンロードしてください。

検索キーワードを入力する場合は、「Pioneer Smart Sync」と入力することをお勧めします。





- iPhoneをお使いの場合はiOS 10.3以上の搭載が必要です
- スマートフォン (Android) をお使いの場合はAndroid OS 5.0以上の搭載が必要です。
- 運転中に携帯端末を手で保持して操作すると罰則の対象となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

接続方法を設定する

1. ■ボタンを長く押し、[MENU] を表示する
2. >ボタンを押し[SYSTEM]を選び、■ボタンを押す
3. >ボタンを押し[APP CTL]を選び、■ボタンを押す
4. >ボタンを押し接続方法を選び、■ボタンを押す

機能名	動作内容
WIRED	USBケーブルで接続する
BT	Bluetoothで接続する



- iPhoneまたはスマートフォン (Android) にPioneer Smart Syncがインストールされていない場合は、iPhoneまたはスマートフォン (Android) にPioneer Smart Sync ダウンロードの案内メッセージが表示されます (スマートフォン (Android) をBluetooth接続した場合は表示されません)。

5. <ボタンを長く押す
通常の表示に戻ります。



- iPhoneまたはスマートフォン (Android) 以外の端末をお使いの場合は、正しく動作しない場合があります。

接続する

USBケーブルで接続する

本機と iPhone または スマートフォン (Android) を USB ケーブルで接続してください。

自動的に Pioneer Smart Sync が起動します。



- USB 接続する場合は別売の CD-IU010、CD-U320 または CD-U510 ケーブルが必要です。
- 充電専用 USB ケーブルでは Pioneer Smart Sync は利用できません。

Bluetoothで接続する

P41 「Bluetooth 機器の接続」を参照して、Bluetooth で接続してください。

自動的に Pioneer Smart Sync が起動します。

iPhone または スマートフォン (Android) の音楽を聴く

1.  ボタンを押して [APP] を選択する

Bluetooth 機器を使う

Bluetooth 機器の接続

BT AUDIOを聞いたり、ハンズフリー操作をしたり、iPhoneやスマートフォン(Android)で本機を操作するには、Bluetooth接続が必要です。接続する機器側の操作方法については、接続する機器の説明書をご覧ください。

Bluetooth機器は、10台まで登録できます。



- Bluetooth機器の登録は、接続する機器側から本機を検出して簡単に行うことができます。
- 本機は、以下のBluetoothプロファイルに対応しています。
 - GAP (Generic Access Profile)
 - SDAP (Service Discovery Application Profile)
 - HFP (Hands Free Profile) ver. 1.6
 - PBAP (Phone Book Access Profile)
 - A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
 - AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) ver. 1.5
 - SPP (Serial Port Profile) ver. 1.1

はじめて、iPhoneまたはスマートフォン(Android)をBluetooth接続する場合は、以下の手順を実施してください。

2回目以降は、自動的に接続されます。

1. iPhoneまたはスマートフォン(Android)のBluetooth設定を、オンにする
2. iPhoneまたはスマートフォン(Android)に表示されている接続先から、本機(MVH-7500SC)を選択する
3. 本機とBluetooth機器に表示される6桁の数字が同じことを確認する

4. 本機の6桁の数字の横に[Y]が表示されていることを確認し、**■**ボタンを押す
5. Bluetooth 機器側で[YES]を選びペアリングする



- ・ Bluetooth機器側でパスコードの入力を求められた場合は、Bluetooth機器を操作してパスコードを入力してください。パスコードは「0000」です。

■ 本機のBluetooth機器情報を確認する

本機の機器情報を確認できます。

この機能を利用するには、Bluetooth機器が本機に登録されている必要があります。

1. **■**ボタンを長く押し、[MENU]を表示する
2. >ボタンを押して[SYSTEM]を選び、**■**ボタンを押す
3. >ボタンを押し[DEV INF]を選び、**■**ボタンを押す

音楽を聴く

本機では、Bluetooth機器を使って、Bluetoothオーディオ機能を使用できます。

Bluetooth対応のオーディオ機器をBT AUDIOソース時に5台まで同時に接続し、各機器の音楽を再生することで接続を切り換えることができます。

2台以上接続する場合は、以下の手順でBluetooth対応のオーディオ機器を接続してください。

1. **♪**ボタンを押して、[BT AUDIO]ソースを選択する

2. ■ボタンを長く押し、[MENU] を表示する
3. >ボタンを押して [FUNCTION]を選び、■ボタンを押す
4. >ボタンを押して [SEL DEV]を選び、■を押す
5. >ボタンを押して Bluetooth 対応のオーディオ機器を選び、■ボタンを押す



使用条件によっては、5 台まで接続できない場合や再生できない場合があります。

以下の操作は、「音楽を聴く【USB】【iPhone】」と同じです。(👉
P35)

- 曲/フォルダー/ファイルの操作



- BT AUDIOでは、以下のBluetooth プロファイルに対応しています。
 - A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
 - AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) ver. 1.5
- 接続する Bluetooth 機器によっては、操作や動作が異なる場合があります。
Bluetooth 機器の説明書も併せてご覧ください。

携帯電話でハンズフリー通話する

本機では、iPhoneまたはスマートフォン (Android) を使用して、ハンズフリー通話ができます。

Bluetooth 対応の携帯電話は、2 台まで同時に接続できます。

最初に、本機と iPhone またはスマートフォン (Android) を接続してください。

本機を操作して、電話をかけることはできません。



- ・携帯電話を使用するときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。
- ・車のイグニションスイッチをOFFにしている時に、Bluetooth経由でiPhoneまたはスマートフォン(Android)を接続していると、車両のバッテリーが消耗する場合があります。
- ・組み合わせるBluetooth対応の携帯電話によっては、操作や動作が異なります。携帯電話の取扱説明書も併せてご覧ください。

電話に出る・電話を切る

どのソースを聞いているときでも、本機の電源がOFFのときでも、かかってきた電話に出ることができます。

1. 電話がかかってきたら、本機のいずれかのボタンを押す
電話がつながり、通話できます。



- ・携帯電話の2台同時接続中に、1台目で通話をしていて2台目に電話がかかってきた場合は、本機のディスプレイにメッセージが表示されます。
- ・2台目の電話に応答する場合は、1台目の電話を終了させてください。

2. ^/vボタンを押し、受話音量を調整する

操作	動作内容
^ボタンを押す	受話音量を大きくする
vボタンを押す	受話音量を小さくする

3. □ボタンを押し、電話を切る

■ 着信を拒否する

電話に出られないときは、着信を拒否できます。

1. □ボタンを長く押し、着信を拒否する

音声認識機能を使う

本機を使ってiPhoneやスマートフォン(Android)の音声認識操作ができます。

iPhone 5s以降の機種で、iPhoneでSiriの設定をONにしている場合は、Siri アイズフリー(音声認識)機能が使えます。



- 音声認識について詳しくは、iPhoneまたはスマートフォン(Android)の説明書をお読みください。
- 操作方法は、ご使用のiPhoneまたはスマートフォン(Android)によって異なる場合があります。
- 発話どおり認識されたことを確認してください。
- 風切り音や外の騒音などは、発話を正しく認識できない原因になります。車の窓は閉めてください。
- 音声入力開始操作後、すぐに発話すると正しく認識できない原因になります。
- ゆっくり、はっきりと発話しないと、正しく認識できない原因になります。

1. ●ボタンを押す

「VR」または「Siri」と表示され、音声認識モードに入ります。



- Pioneer Smart Sync 接続時には、Pioneer Smart Syncの音声認識機能になります。
- iPhoneまたはスマートフォン(Android)を操作して音声認識モードに入ることもできます。

2. 本機のマイクに向かって発話する

音声指示した動作が実行されます。

スマートフォン(Android)をご利用の場合は、●ボタンを押すと発話受付開始と発話受付停止を切り換えることができます。

初期設定【INITIAL】

リア出力を設定したり、ソフトウェアを更新したりする設定は、初期設定メニューで行います。

初期設定メニューは、ソースをOFFにした状態で操作します。

初期設定メニューを切り換える

1. **♪**ボタンを長く押し、ソースをOFFにする
2. **■**ボタンを長く押し、[MENU]を表示する
3. **>**ボタンを押し [INITIAL]を選び、**■**ボタンを押す
4. **>**ボタンを押し設定を選び、**■**ボタンを押す

調整できる機能は以下の通りです。

機能名	動作内容
SP-P/O [FUL/SUB] [SUB/SUB] [FUL/FUL]	リア出力を設定します。 リアスピーカー出力とRCA出力には、フルレンジスピーカーまたはサブウーファースピーカーを接続できます。それぞれの接続状態に合わせて設定します。 [FUL/SUB]: リアスピーカー出力にフルレンジスピーカーを接続し、RCA出力にサブウーファースピーカーを接続するときに設定する [FUL/SUB]または[SUB/SUB]: リアスピーカー出力にフルレンジスピーカーを接続し、RCA出力に何も接続しないときに設定する [SUB/SUB]: リアスピーカー出力とRCA出力にフルレンジスピーカーを接続するときに設定する [FUL/FUL]: リアスピーカー出力とRCA出力にサブウーファースピーカーを接続するときに設定する

機能名	動作内容
UPDATE [S/W VER] [START]	<p>[S/W VER]を選ぶと、本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。</p> <p>[START]を選ぶと、本機のソフトウェアを更新できます。</p> <p>更新が完了すると、「COMPLETE」と表示されます。ソフトウェアについての情報や更新についての詳細は、パイオニアのホームページをご覧ください。</p> <p></p> <ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアを更新すると、本機は工場出荷時の状態に戻ります。 更新作業中は、本機の電源をOFF にしないでください。
RESET [YES] [NO]	<p>設定を工場出荷時に戻します。</p> <p>>ボタンを押し[YES]を選び、ボタンを押します。本機が再起動します。</p>

システム設定【SYSTEM】

時計を合わせたり、接続方法の設定を切り換えたりするなどの設定は、システムメニューで行います。

システムメニューは、ソースをOFFにした状態でもONにした状態でも操作できます。

システムメニューを切り換える

- ボタンを長く押し、[MENU]を表示する
- >ボタンを押し[SYSTEM]を選び、■ボタンを押す
- >ボタンを押し設定を選び、■ボタンを押す
調整できる機能は以下の通りです。

機能名	動作内容
CLOCK [12H] [24H]	本機のディスプレイに表示する時計を調整します。 1. >ボタンを押し[12H]/[24H]を切り換え■ボタンを押す 2. >ボタンを押し[時]を合わせて、■ボタンを押す 3. >ボタンを押し[分]を合わせて、■ボタンを押す
BEEP [Y] [N]	ボタンを押したときにピープ音を鳴らすことができません。 ■ボタンを押すごとに、[Y]/[N]が切り換わります。
BT CLR [YES] [NO]	本機に登録したBluetooth登録機器リストが消去されます。 確認画面で>ボタンを押し[YES]を選び、■ボタンを押します。 消去が完了すると、「CLEARED」と表示されます。

機能名	動作内容
APP CTL [BT] [WIRED]	<p>接続方法を選びます。</p> <p>1. >ボタンを押し接続方法を選び、■ボタンを押す [BT] : Bluetoothで接続する [WIRED] : USB ケーブルで接続する</p> <p></p> <ul style="list-style-type: none"> 設定した接続方法と接続状態が異なると、Pioneer Smart SyncやiPhoneソースがご利用になれません。 BT AUDIOソースおよびiPhoneソースは、[WIRED]を選択しても利用できます。
SREMOTE [OFF] [PIONEER] [PRESET]	<p>ステアリングリモコンのキー設定します。</p> <p>ステアリングリモコンを使用するためには、ステアリングリモコンアダプタ (別売) またはステアリングリモコンケーブル (別売) が必要です。</p> <p>>ボタンを押し設定を選び、■ボタンを押します。</p> <p>[OFF] : ステアリングリモコンは動作しません (工場出荷時の設定)。 [PIONEER] : ステアリングリモコンアダプタ (別売) を利用する場合に選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> [PRESS]、[VOL +]、[FOR 1 SEC] が順番に表示されたら、ステアリングリモコンの [VOL UP] キーを 1 秒以上押す [PRESS]、[VOL -]、[FOR 1 SEC] が順番に表示されたら、ステアリングリモコンの [VOL DOWN] キーを 1 秒以上押す [COMPLETE] と表示されたことを確認する

機能名	動作内容
	<p>[PRESET] : ステアリングリモコンケーブル (別売) を利用する場合に選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. > ボタンを押し車両メーカーを選び、■ ボタンを押す 2. 「PRESS」、「VOL +」、「FOR 1 SEC」が順番に表示されたら、ステアリングリモコンの「VOL UP」キーを1秒以上押す 3. 「PRESS」、「VOL -」、「FOR 1 SEC」が順番に表示されたら、ステアリングリモコンの「VOL DOWN」キーを1秒以上押す 4. 「COMPLETE」と表示されたことを確認する
USB AUT [Y] [N]	USB 機器や iPhone/スマートフォン (Android) を接続したときに自動的にソースが切り換わるようにする場合、設定を [Y] にします。 ■ ボタンを押すごとに、[Y]/[N] が切り換わります。
DISP OFF [Y] [N]	ディスプレイとボタンの消灯設定をします。 消灯した場合任意のボタンやリモコンを押すことで、一時的に点灯します。 ■ ボタンを押すごとに、[Y]/[N] が切り換わります。
ATT/MUT [MUTE] [ATT]	v ボタンを長押しすることで、消音するかどうかの設定をします。 > ボタンを押すごとに [MUTE]/[ATT] が切り換わります。
DEV INF	本機の情報を表示します。

音の調節【AUDIO】

「音量バランス調節」「ラウドネス」などの音質調整機能を使うときは、オーディオメニューで機能を選んで操作します。

オーディオメニューを切り換える

1. ■ボタンを長く押し、[MENU]を表示する
2. >ボタンを押し[AUDIO]を選び、■ボタンを押す
3. >ボタンを押し機能を選び、■ボタンを押す
調整できる機能は以下の通りです。

機能名	動作内容
<p>EQ</p> <p>[SUPERBAS] [POWERFUL] [DYNAMIC] [NATURAL] [VOCAL] [VIVID] [APP EQ]* [CUSTOM1] [CUSTOM2] [FLAT]</p> <p>*[APP EQ]は、Pioneer Smart Sync 接続時に iPhone または スマートフォン (Android) 側で イコライザーカーブ を設定されている 場合のみ表示され ます。</p>	<p>あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選び、お好みの音質にできます。</p> <p>>ボタンを押しイコライザーカーブを選び、■ボタンを押します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「FLAT」は、イコライザーによる音の補正がされてい ません。他のイコライザーカーブに切り換えることで、 そのイコライザーカーブの効果を確認することもで きます。 • 「CUSTOM1」と「CUSTOM2」は、お好みに合わせ たイコライザーカーブを調整したい場合に選択しま す。イコライザーカーブの調整はPioneer Smart Syncから行うことができます。 • すべてのソースに共通したイコライザーカーブとし て記憶されます。
<p>FADER</p>	<p>前後のスピーカーからの音量バランスを調節します。</p> <p>>ボタンを押すと、前のスピーカーを強め、<ボタン を押すと、後のスピーカーを強めます。</p> <p>調節範囲: F + 25 (FRONT 25) ~ R + 25 (REAR 25)</p>
<p>BALANCE</p>	<p>左右のスピーカーからの音量バランスを調節します。</p> <p>>ボタンを押すと、右のスピーカーを強め、<ボタン を押すと、左のスピーカーを強めます。</p> <p>調節範囲: L + 25 (LEFT 25) ~ R + 25 (RIGHT 25)</p>

機能名	動作内容
[SUB.W] (ON/OFF 切換) [Y] [N]	サブウーファーを使用するときに設定します。 ■ ボタンを押すごとに、[Y]/[N]が切り換わります。 ・[N]に設定した場合、サブウーファーの位相切り換えの設定はできません。また、出力レベル、タイムアラ イメント、カットオフ周波数、スロープでサブウー ファーの設定はできません。
BASS.B [OFF] [LOW] [HIGH]	サブウーファーを接続したときのような音を出す ことができます。レベルを上げると、迫力のある低音 を再生できます。 >ボタンを押すごとに設定が切り換わります。
LOUDNES [OFF] [LOW] [MID] [HIGH]	小さな音量で音楽を聞いていると、低音・高音が不 足しているように感じることがあります。ラウドネ スは、この不足感を補って、音を聞きやすくします。 >ボタンを押すごとに設定が切り換わります。
SLA - 4 ~ + 4	SLAとは、「Source Level Adjuster (ソースレベ ルアジャスター)」の略です。 ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違 うことがあります。SLAを使うと、FMの音量を基 準にして各ソースの音量をそろえることができます。 ラジオのFMを聞いているときは、SLAには切り換 わりません。 AM/USB (USB 接続の場合のみ) /iPhone/BT AUDIO/APPの音量差を調節できます。 >ボタンを押しレベルを選びます。
S.RTRV [OFF] [1] [2]	[1]: 圧縮率の低い圧縮音楽に適した補正をします。 [2]: 圧縮率の高い圧縮音楽に適した補正をします。 以下のソース時に設定が可能です。 ・USB (MP3/WMA/AAC/FLAC) ・iPhone >ボタンを押すごとに設定が切り換わります。

イルミネーション機能を使う

イルミネーションメニューを切り換える

本機に設定したい色を、イルミネーションメニューで選びます。

1. ■ボタンを長く押し、[MENU]を表示する
2. >ボタンを押し[ILLUMINATION]を選び、■ボタンを押す
3. >ボタンを押し機能を選び、■ボタンを押す
調整できる機能は以下の通りです。

機能名	動作内容
COLOR	ボタンやディスプレイに設定したい色を選びます。 >ボタンを押すごとに色が切り換わります。 [WHITE]/[RED]/[AMBER]/[ORANGE]/ [YELLOW]/[P.GREEN]/[GREEN]/ [TURQUOIS]/[L. BLUE]/[BLUE]/[PURPLE]/ [PINK]/[SCAN]  ・SCANは、様々な色を自動で切り換えます。
DIMMER [SNC ILM] [SNC CLK] [OFF]	夜間の本機の明るさを切り換えます。(ディマー設定) ディマーとは、周囲の明るさに合わせて、ディスプレイとボタンの明るさを変更する機能です。 >ボタンを押すごとに設定が切り換わります。 [SNC ILM]: 車のスモールランプを点灯すると、ディスプレイが暗くなる [SNC CLK]: ディ스플레이を暗くする開始時間 (START) と終了時間 (STOP) を設定する [OFF]: ディマー設定をOFFにします。

機能名	動作内容
BRT	<p>ボタンやディスプレイを、お好みの明るさに設定します。</p> <p>>ボタンを押し明るさを切り換える [1]～[10]</p> <p></p> <ul style="list-style-type: none">• ディマー設定のON/OFF 状態によって、設定範囲が変わります。 <p>ON : [1] ~ [9] OFF : [1] ~ [10]</p>

接続／取り付け

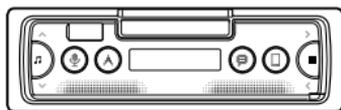
接続／取り付け上のご注意

- ・ 接続する前に、必ず車のバッテリーの⊖端子を外してください。
- ・ 車への取り付けは、必ず本書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- ・ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

接続／取り付け部品を確認する

■ 本体関係

本体 × 1



トラスネジ × 4



皿ネジ × 4



■ コード関係

電源コード × 1



■ マイク関係

ハンズフリー用マイク × 1



両面テープ

(15 mm × 12 mm) × 1



取り付けの前知ってほしいこと

■ ダッシュボード付近に本製品を取り付ける場合のご注意

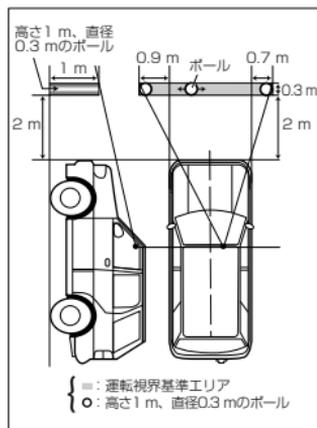
下記の点にご注意ください。

- ・ 前方視界を妨げない
- ・ 直前側方視界を妨げない
- ・ エアバッグシステムの動作を妨げない
- ・ **iPhoneまたはスマートフォン(Android)に関しては、運転中の視線移動が少ないように**前方視界および直前側方視界を妨げる位置に取り付けると、道路運送車両の保安基準*に適合せず車検に通らなかったり整備不良の対象となる場合があります。

* 保安基準とは、道路運送車両の保安基準第21条及び細目を定める告示第183条をいいます。

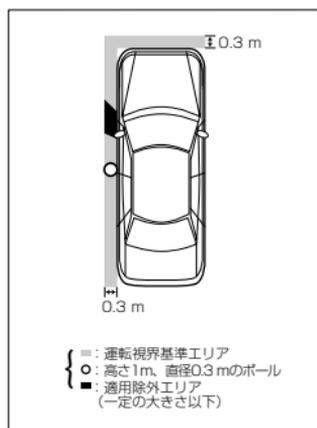
前方視界に関して

- 運転者が通常の運転状態における視点において、右図のポールが直接確認できるように取り付けてください。



直前側方視界に関して

- 運転者が通常の運転状態における視点において、右図のポールが直接またはミラーやカメラ画像で確認できるように取り付けてください。

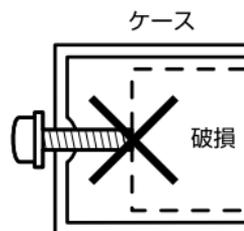


注意

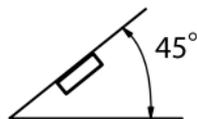
いずれの基準も左ハンドル車の場合は、左右逆になります。

■ 取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、確実に固定できずに外れたりして危険です。



- 本機の性能を確実に発揮するために、水平に対して45度以内の角度で取り付けてください。



■ 取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。
- ダッシュボード下へ取り付ける場合は、Dサイズ用汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

本機にはスマートフォンホルダーがあります

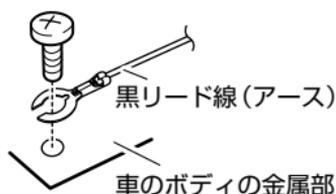
本機にはスマートフォンホルダーがあります

- スマートフォンホルダーに取り付けたiPhoneまたはスマートフォン(Android)がエアコンの吹き出し口に近づきすぎない場所に本機を取り付けてください。
- スマートフォンホルダーに取り付けたiPhoneまたはスマートフォン(Android)が運転手の足もとに落下しない場所に、本機を取り付けてください。
- スマートフォンホルダーに取り付けたiPhoneまたはスマートフォン(Android)が運転の妨げにならない場所に、本機を取り付けてください。
- パイオニア株式会社は、製品や車両の使用に起因するいかなる損害に対しても、責任を負いません。

接続の前に知ってほしいこと

■ 接続上のご注意

- 本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。



- 本機は、エンジンスイッチにACCがない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチにACCがある車でご使用ください。
- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。
- スピーカーのリード線をアースに接続したり、複数のスピーカーの（－）リード線を、共通にして接続したりしないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ωから8 Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。
- ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青/白リード線（アンテナコントロール）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

■ 接続のポイント

ノイズ防止のために

- アンテナコードは、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

■ コネクター着脱のポイント

- コネクターは、「カチッ」と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- コネクターを外すときは、コネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

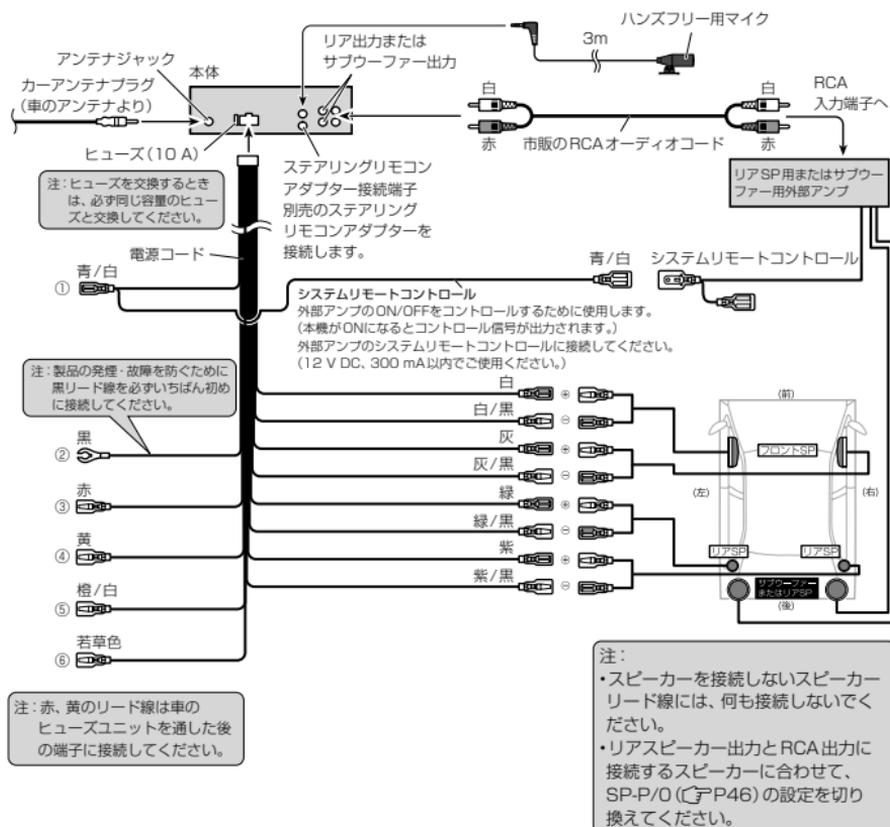
■ バッテリー交換時のご注意

- 各機能の設定値は、車のイグニションスイッチをOFFにした時などに自動的に記憶され、バッテリーを外しても保持されます。

接続する

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機のスピーカーリード線にリアスピーカーを接続する場合



① アンテナコントロール

アンテナをコントロールするために使用します。

(12 V DC、300 mA以内でご使用ください。)

下記車両については未接続状態の場合ラジオが受信できない場合がありますので必ず接続してください。

●オートアンテナ車の場合：

車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。

※アンテナを下げる場合は、電源OFFにしてください。

●ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車などの場合：

車側のアンテナブースターの電源入力端子に接続してください。

② アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。

③ アクセサリー電源

車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

④ +バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

⑤ イルミネーション電源

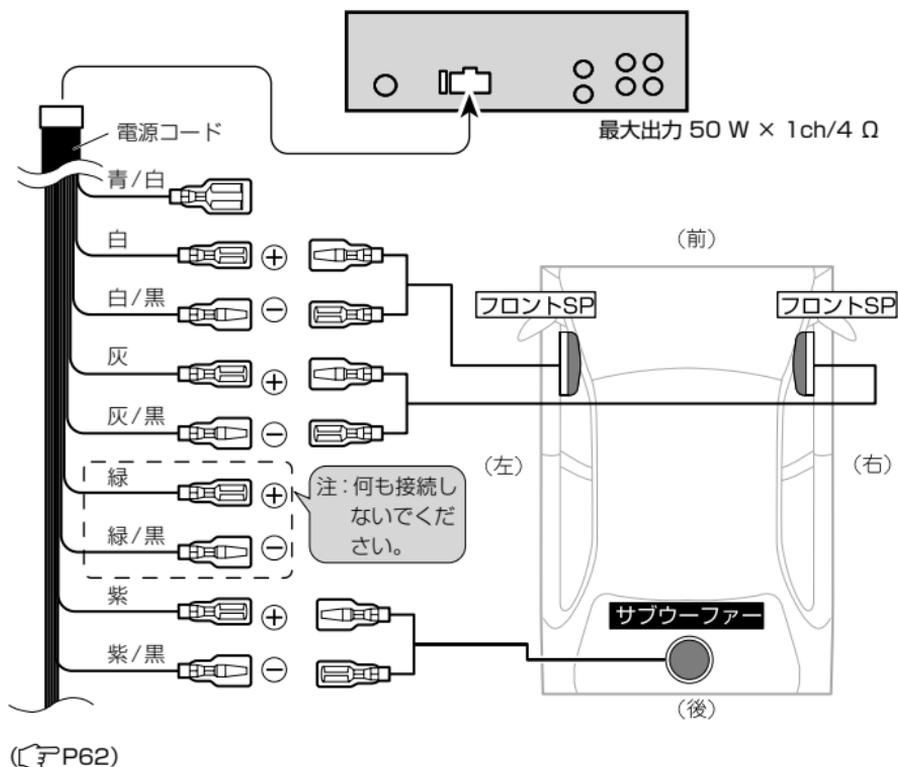
スモールランプ点灯時に電源が供給される電源回路に接続してください。

⑥ パーキングブレーキスイッチ

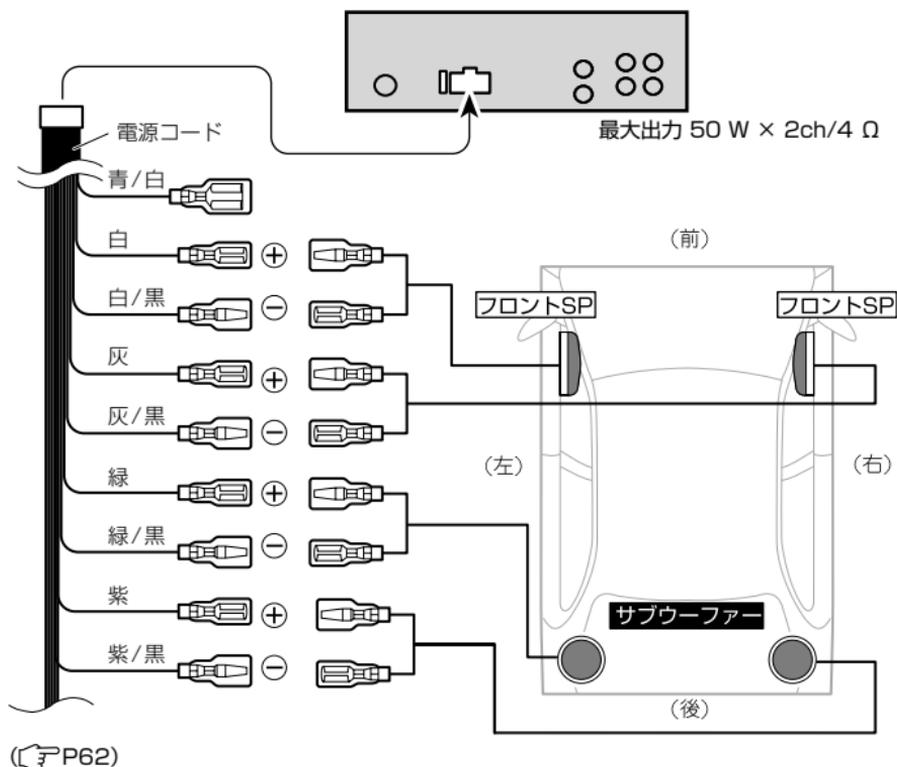
車が停車していることを確認するために使用します。

必ずパーキングブレーキスイッチの+側リード線に接続してください。

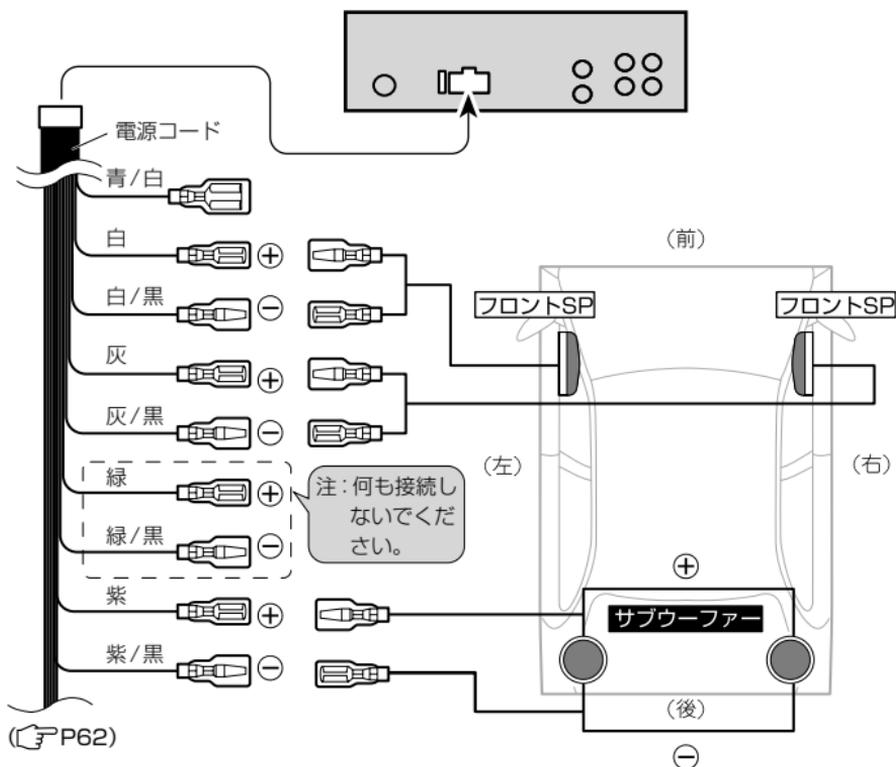
本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合(1)



本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合(2)



本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合(3)



(P62)

ここでは、4 Ωのサブウーファーを並列に接続し、2 Ωとして使用しています。

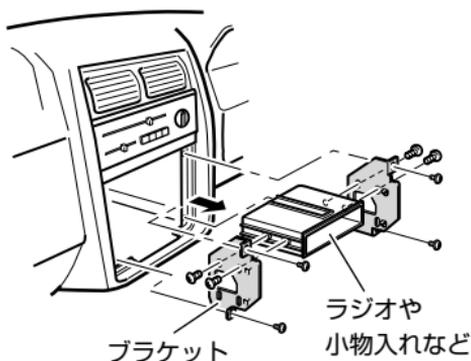
本体を取り付ける

トヨタ車、日産車への取り付け例です。

1. 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを留めているブラケットを取り外します。

そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



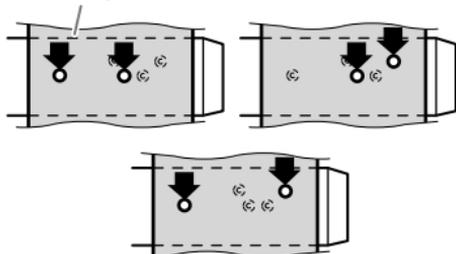
- 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

2. ネジ留めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

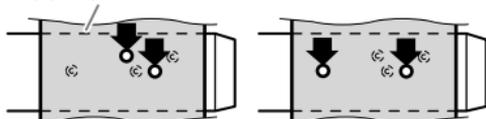
トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



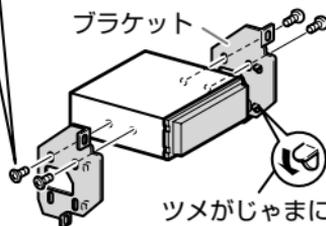
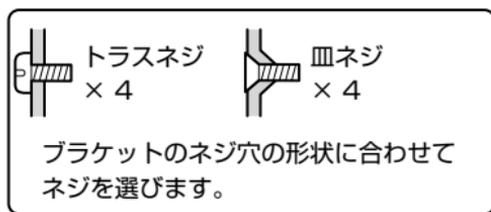
日産車の場合

日産車ブラケット



3. ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元通り車に取り付けます。



ツメがじゃまになるときは、折り曲げます。

動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1. 接続／取り付কেもう一度確認する



- 接続／取り付কে誤りがないか、各コネクターは確実に接続されているかもう一度、目で見て確認してください。

2. 車のエンジンをかける

3. 本機の動作を確認する

フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

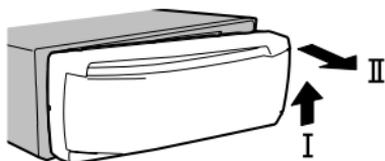
盗難抑制のため、フロントパネルを取り外す（デタッチ）ことができます。



- フロントパネルを無理に引いて取り外さないでください。
- 取り外し、取り付けの際に、ディスプレイやボタンを強く持たないでください。
- 落とす、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障することがあります。
- 分解しないでください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。
- 汚れたときは、きれいな乾いた布でふいてください。その際、フロントパネルおよび本体の端子部には触らないでください。接触不良の原因となることがあります。
- デタッチを行うときは、フロントパネルからUSBケーブルを取り外してください。取り外さなかった場合は、機器や車両の備品が破損するおそれがあります。
- 安全のため、停車してからデタッチを行ってください。

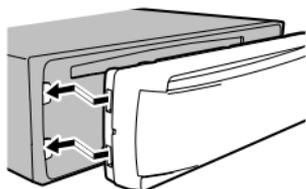
■ フロントパネルの取り外しかた

1. デタッチボタンを押して、ロックを解除する (☞ P20)
2. フロントパネルの右側を上げ (I)、手前に引いて取り外す (II)
取り外したフロントパネルは、ケースなどに入れて保管してください。



■ フロントパネルの取り付けかた

1. フロントパネルの左側を本体にあわせる



2. フロントパネルの右側を押して、本体に取り付ける



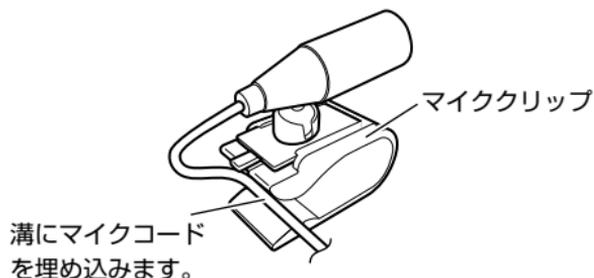
ハンズフリー用マイクの取り付け



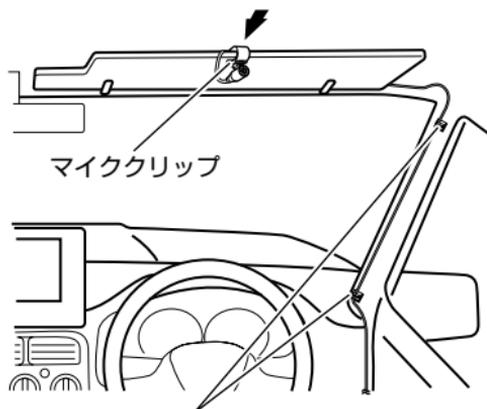
- 両面テープやクランパーを貼り付けるところは、汚れをよくふきとってください。
- ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。また、エコー(反響音)を軽減するため、なるべく車のスピーカーから離れた位置に設置してください。

■ サンバイザーにはさんで取り付ける場合

1. マイククリップにマイクコードを埋め込む



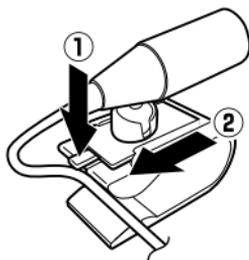
2. サンバイザーにマイククリップを挟み込み、マイクを取り付ける



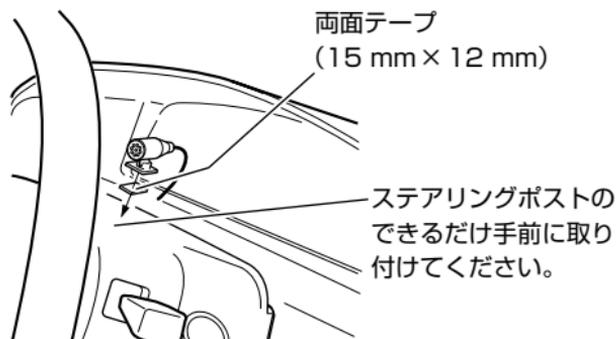
クランパー (市販品) で要所を固定しながら、マイクコードを引き回します。

■ ステアリングポストに取り付ける場合

1. マイククリップを取り外す



2. ステアリングポストにマイクを取り付ける



クランパー (市販品) で
要所を固定しながら、
運転操作に支障がない
ようにマイクコードを
引き回します。



■ マイク角度の調節のしかた

マイクの角度は、下図のように矢印の方向に動かして調節します。



付録

再生可能なメディアとファイルについて

フォーマット	拡張子	対応メディア
		USB
WMA	.wma	○
MP3	.mp3	○
AAC	.m4a	○
WAV	.wav	○
FLAC	.flac/.fla	○

WMAとは？ 「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver. 7以降を使用してエンコードできます。

MP3とは？ 「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループ（MPEG）の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮できます。

AACとは？ 「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

WAVとは？ 「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

FLACとは？ 「Free Lossless Audio Codec」の略で、オープンソースとして開発された音声フォーマットです。MP3やAACと異なり、可逆圧縮であるため、音質を劣化させることなく圧縮できます。

コーデック		フォーマット				
		WMA	MP3	AAC	WAV	FLAC
サンプリング 周波数		32 kHz ~ 48 kHz	8 kHz ~ 48 kHz*	11.025 kHz ~ 48 kHz	16 kHz ~ 48 kHz (LPCM 形 式)	8 kHz ~ 96 kHz
ビット レート	CBR	48 kbps ~ 320 kbps	8 kbps ~ 320 kbps	16 kbps ~ 320 kbps	—	—
	VBR	48 kbps ~ 384 kbps	8 kbps ~ 320 kbps	16 kbps ~ 320 kbps	—	—

※サンプリング周波数が32 kHz、44.1 kHz、48 kHzのMP3 ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応。

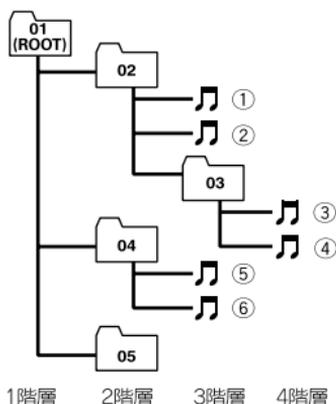


- ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機で画像データを含むWMA ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- この製品は、以下の形式には対応していません。
 - Windows Media Audio Professional (5.1 ch)
 - Windows Media Audio Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio Voice
- ID3 tagのVer. 1.0 / 1.1 / 2.2 / 2.3 / 2.4のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tagのVer. 1.XとVer. 2.Xが混在している場合は、Ver. 2.Xが優先されます。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PRO フォーマットには対応していません。
- iTunes Storeで購入された楽曲(.m4p)は、USB 機器に記録して再生できません。
- パーティションを作ったUSB メモリーは、再生可能な最初のパーティションだけを再生します。
- 使用するUSB 機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。

- 本機は、次の形式には対応していません。
 - Appleロスレス・エンコーダ
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。

メディア内のフォルダー構成について

- メディア内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図のようになります。(USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合は異なります。)



- 01 ～ 05 はフォルダー番号の割り当て、①～⑥は曲の再生順の例です。お客様が本機を操作してフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
 1. コンピューターで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
 2. それらのファイルをフォルダーに入れる。
 3. フォルダー単位でメディアにコピーする。
 ただしコンピューター的环境によっては、この方法で指定できない場合もあります。



- WMA/MP3/AAC/WAV/FLAC ファイルを含まないフォルダーは認識しません。フォルダーの番号を表示せず、スキップします。
- 8 階層までの WMA/MP3/AAC/WAV/FLAC ファイルの再生に対応しています。ただし階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字です。
- 再生できるフォルダー、ファイルの合計は以下の通りです。
 - USB: 最大 1 500 フォルダー、最大 15 000 ファイル

USB 機器について

- USB 機器の取り扱いについては、それぞれの説明書をお読みください。
- 本機との組み合わせで使用時に携帯デジタルプレーヤーや USB メモリーのデータなどが消失した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。

本機との接続について

- USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外 (USB 扇風機など) は接続しないでください。
- USB 機器を本機に接続する際は、別売の USB ケーブル (例: CD-U51E) を使用してください。USB ケーブルを使わずに直接接続すると、USB 機器が突起物となり危険です。指定の USB ケーブル以外は、使用しないでください。
- 接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- USB ハブを使用しての接続には対応していません。

保管上のご注意

- USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

iPhoneについて

本機が対応する iPhone

- 本機は以下の iPhone1に対応しています。
Made for
 - iPhone X
 - iPhone 8
 - iPhone 8 Plus
 - iPhone 7
 - iPhone 7 Plus
 - iPhone SE
 - iPhone 6s
 - iPhone 6s Plus
 - iPhone 6
 - iPhone 6 Plus
 - iPhone 5s
- 最新の情報についてはカロッツェリアホームページ (<http://carrozzeria.jp>) でご確認ください。
- 操作方法は、iPhoneの世代やソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。



- iPhoneは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPhoneを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPhoneは必ず固定してください。iPhoneが落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPhoneの取り扱いについて詳しくは、iPhoneの説明書をお読みください。
- 本機と組み合わせて使用しているときにiPhoneのデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と 思ったら

修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。



それでも 直らないときは

「保証書とアフターサービ
ス」をお読みになり、修理
を依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。 車両のバッテリーのマイナス端子を外して、1分後再接続してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものと交換してください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を調節してください(👉 P22)。
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(👉 P52)。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(👉 P52)。
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください(👉 P52)。

本機が誤動作する。 雑音が入る。	携帯電話などの電波発信機器を本機に近づけて使用している。	電波発信機器を本機から離してご使用ください。
---------------------	------------------------------	------------------------

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、「ジージー、ザーザー」という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください(👉P36)。
	放送局の電波が弱い。	ほかの放送局を選局してみてください(👉P36)。
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください(👉P36)。
FMは受信するが、AMが受信できない。 受信感が悪い。	アンテナコントロールが接続されていない。	アンテナコントロールを正しく接続してください(👉P62)。
	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを確実に伸ばしてください。
ラジオ以外でオートアンテナが下がらない。	電源がONになっている。	電源をOFF にしてください。

BT AUDIO

症 状	原 因	処 置
再生できない。	Bluetooth 機器との接続が完了していない。	接続が完了してから操作してください(☞P41)。
	Bluetooth 接続した携帯電話を使用中である。	同時に複数のBluetooth 機器は使用できません。接続を切り換えてください(☞P41)。
	Bluetooth 接続した携帯電話を使用後、接続終了動作が正しく行われなかった。	再度接続してください(☞P41)。

こんなメッセージが表示されたら

正常に動作しないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

共通のエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「AMP ERR」	スピーカーの接続状態または本機に異常があり、保護回路が動作した。	スピーカーの接続状態をご確認ください。 エンジンスイッチをOFF → ONしてもメッセージが消えない場合は、販売店またはバイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。

USBのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「CHECKUSB」	USB コネクタまたはUSBケーブルがショートした。	USB コネクタ／USBケーブルが何かにはさまっていないか、破損していないか確認してください。
「CHECKUSB」	規定 (👉 P93) 以上の電流を消費するUSB機器を接続した。	接続したUSB機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにしてください。次に、対応するUSB機器を接続してください。
「N/A USB」	接続されたUSB機器が本機に対応していない。	USB Mass Storage Class対応のUSB機器を接続してください。

[HUB ERR]	USBハブを使用してUSB機器を接続した。	本機に直接USB機器を接続してください。
[NO AUDIO]	何も収録・保存されていないUSB機器を接続した。	対応する圧縮オーディオファイルが収録・保存されたUSB機器を接続してください。
	セキュリティー機能付きのUSBメモリーを接続した。	USBメモリーの説明書に従って、セキュリティーを解除してから使用してください。
[PROTECT]	USB機器内のすべてのファイルがWindows Media DRM 9/10で保護されている。	Windows Media DRM 9/10で保護されていない圧縮オーディオファイルを収録・保存したUSB機器を接続してください。
[SKIPPED]	Windows Media DRM 9/10で保護されたWMAファイルを再生した。	Windows Media DRM 9/10で保護されていない圧縮オーディオファイルを再生してください。
[ERROR-19]	正常に通信できない。	以下のいずれかの処置を行ったあと、ソースをUSBに切り換えてください。 車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONする。／接続したUSB機器を一度外してから接続する。／別のソースに切り換える。
[ERROR-23]	接続されたUSB機器のフォーマットが、FAT32/FAT16/FAT12ではない。	フォーマットが、FAT32、FAT16、またはFAT12のUSB機器を接続してください。

APPのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「CNCT APP」	Pioneer Smart Syncが接続されていない。	Pioneer Smart Syncを接続してください。

iPhoneのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「CHECKUSB」	iPhoneは動作するが、充電されない。	iPhoneケーブルがショートしていないか(たとえば、金属物にはさまれていないか)確認してください。確認後、車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、iPhoneを一度脱着してください。
「ERROR-19」	正常に通信できない。 iPhoneに問題が発生した。	コネクタを一度外し、iPhoneのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPhoneが正常に動作しない場合は、iPhoneをリセットしてください。
「ERROR-16」	iPhoneソフトウェアのバージョンが古い。 iPhoneに問題が発生した。	iPhoneソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。 コネクタを一度外し、iPhoneのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPhoneが正常に動作しない場合は、iPhoneをリセットしてください。

「STOP」	iPhoneに曲が入っていない。	曲が入っているプレイリストを選んでください。
--------	------------------	------------------------

Bluetoothのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR-10」	本機のBluetoothモジュールに通信できない。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにしてください。それでも正常に動作しない場合は、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。
「NO DEV」	Bluetooth機器が本機に接続されていない。	Bluetooth機器を本機に接続してください。

システムのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR」と「RETRY」交互表示	ソフトウェアの更新に失敗した。	■を押して、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。
「FILE ERR」	ソフトウェアの更新用ファイルが正しくない。	ソフトウェアの更新用ファイルを確認して、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。

記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

修理について

本機は持ち込み商品のため出張修理は承っておりません。引き取り修理サービスをご利用ください。（お車から取り外していただいた状態での引き取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。）

■ 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。連絡先については、裏表紙の「修理についてのご相談窓口」をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ 車からの脱着（お取り外し・お取り付け）について

弊社修理拠点へのお持ち込みは、製品をお車から取り外した状態で、承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、及び脱着作業は承っておりません（保証期間内含む）。販売店、または取付店にご相談ください。お車からの脱着費用につきましてはお客様のご負担となります。

■ 補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

■ ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 商標／著作権など

■ 本製品は、電気通信事業法に基づく設計認証を取得しています。



TD18-0077001

■ 本機内蔵の通信モジュールは、電波法に基づく設計認証を取得した特定無線設備（WML-C95）を使用しています。

WML-C95



R003-150114

■ WMA

Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

本製品は、米国Microsoft Corporationが所有する技術を使用しています。また、米国Microsoft Licensing Inc.の許可を得ずに使用または頒布できません。

■ MP3

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。以下放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。以下放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ<http://www.mp3licensing.com>をご覧ください。

営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

Copyright (C) 1998-2009 PacketVideo

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License") ; you may not use this file except in compliance with the License.

You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

■ T-Kernel 2.0

This product uses the source code of TKernel 2.0 under T-License 2.0 granted by T-Engine Forum (www.tron.org) .

■ iTunes

iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

■ FLAC

Copyright © 2000-2009 Josh Coalson

Copyright © 2011-2014 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,

SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ iPhone



iPhone、iPodは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

日本におけるiPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

Made for Appleマークの使用に関して、バッジ内に記してあるアップル製品に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定されたアクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

このアクセサリをアップル製品と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

■ Siri

Siriはマイクを通して機能します。

■ Android & Google Play

Android、Google Play、Google Playロゴは、Google LLCの商標です。

■ Bluetooth

Bluetooth[®]ワードマークおよびロゴは、BluetoothSIG, Inc.が所有する登録商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

主な仕様

■ 共通部

使用電源：.....DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V使用可能)
アース方式：..... マイナスアース方式
最大消費電流：..... 10.0 A
(コード含まず)

外形寸法

(取付寸法)：..... 178 (W) mm × 50 (H) mm × 165 (D) mm
(ノーズ寸法)：..... 170 (W) mm × 46 (H) mm × 16 (D) mm
質量：..... 1.0 kg

■ アンプ／オーディオ部

最大出力：

- 50 W × 4 ch / 4 Ω
- 50 W × 2 ch / 4 Ω + 70 W × 1 ch / 2 Ω
(サブウーファー使用時)

定格出力：.....22 W × 4 (50 Hz ~ 15 000 Hz, 5 %
THD, 4 Ω load, Both Channels Driven)

負荷インピーダンス：.....4 Ω
(4 Ω ~ 8 Ω (1 ch時は2 Ω) 使用可能)

プリアウト最大出力レベル：.....2.0 V

内蔵イコライザー

周波数：50Hz/80Hz/125Hz/200Hz/315Hz/500Hz/800Hz/
1.25kHz/2kHz/3.15kHz/5kHz/8kHz/12.5kHz
調整幅：..... ± 12 dB

ハイパスフィルター

周波数：.....25Hz/31.5Hz/40Hz/50Hz/63Hz/80Hz/100Hz/
125Hz/160Hz/200Hz/250Hz
スロープ：...-6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct, -24dB/oct, OFF

サブウーファー/ローパスフィルター

周波数：.....25Hz/31.5Hz/40Hz/50Hz/63Hz/80Hz/100Hz/
125Hz/160Hz/200Hz/250Hz
スロープ：.....-6dB/oct, -12dB/oct, -18dB/oct, -24dB/oct,
-30dB/oct, -36dB/oct, OFF
位相：.....NORMAL / REVERSE
スピーカーレベル：.....-24 dB ~ + 10 dB (1dB/Step)
タイムアライメント：.....0 ~ 350 cm (2.5cm/Step)

■ USB 部

USB 規格：..... USB 2.0 Full Speed
最大供給電流：..... 1.5 A
USB プロトコル：..... MSC (Mass Storage Class)、
AOA (Android Open Accessory) 2.0
ファイルシステム：..... FAT12、FAT16、FAT32
MP3 デコーディングフォーマット：..... MPEG-1 &
MPEG-2 AUDIO LAYER-3
WMA デコーディングフォーマット：..... Ver. 7、8、9、
9.1、9.2 (2 ch audio)
AAC デコーディングフォーマット：..... MPEG-4 AAC
(Ver. 10.6以前のiTunesでエンコードされたもののみ)
FLAC デコーディングフォーマット：.....
v1.2.1 (Free Lossless Audio Codec)
WAV シグナルフォーマット：..... Linear-PCM

■ FM チューナー部

受信周波数帯域：..... 76.0 MHz ~ 99.0 MHz
実用感度：..... 11 dBf (1.0 μ V/75 Ω 、モノラル、S/N: 30 dB)
S/N：..... 65 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率：..... 0.003 (65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)
0.001 (65 dBf 入力、1 kHz、モノラル)
周波数特性：..... 30 Hz ~ 15 000 Hz (\pm 3 dB)

ステレオセパレーション：..... 45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

■ AMチューナー部

受信周波数帯域：..... 522 kHz ~ 1 629 kHz

実用感度：..... 25 μ V (S/N: 20 dB)

S/N：..... 60 dB (IHF-A ネットワーク)

■ Bluetooth部

Bluetoothバージョン：..... Bluetooth 4.0 certified

出力：..... 最大+4 dBm (Power class 2)

BLE (Bluetooth Low Energy)..... バージョン：4.0 certified
出力：+3.0dBm Maximum

■ 付属品

コードユニット：..... 1

ハンズフリー用マイク：..... 1 式

取付ネジ類：..... 1 式

クイックスタートガイド：..... 1

保証書：..... 1



- 本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

< 各窓口へのお問い合わせ時のご注意 >

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用ください。(通話料がかかります) 正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

商品についてのご相談窓口

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

操作についてお問い合わせいただく場合は、取扱説明書の『ポイントガイド』(👉 P11)を一度ご覧ください。

パイオニア商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

■電話 《カーオーディオ/カーナビゲーション商品》

【固定電話から】

0120-944-111 (無料)

【携帯電話・PHSから】

0570-037-600 (ナビダイヤル・有料)

上記の電話番号がご利用いただけない場合

050-3820-7540 (IP電話・有料)

■ファックス

0570-037-602 (ナビダイヤル・有料)

■インターネットホームページ

<https://jpn.pioneer/ja/support/>

※ 商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理についてのご相談窓口

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

- 電話 【固定電話から】 **0120-5-81028**(無料)
- 【携帯電話・PHS から】 **0570-037-610**(ナビダイヤル・有料)
- 上記の電話番号がご利用いただけない場合
050-3820-7550(IP電話・有料)
- ファックス **0120-5-81029**(無料)
- インターネットホームページ <https://jpn.pioneer/ja/support/purpose/repair/>
※インターネットによる修理のお申し込みを受け付けております

部品のご購入についてのご相談窓口

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

●部品 (付属品、取扱説明書など) のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

- 電話 【固定電話から】 **0120-5-81095**(無料)
- 【携帯電話・PHS から】 **0570-057-140**(ナビダイヤル・有料)
- 上記の電話番号がご利用いただけない場合
050-3820-7551(IP電話・有料)
- ファックス **0120-5-81096**(無料)
- インターネットホームページ <https://jpn.pioneer/ja/support/purpose/parts/flow/>
※ FAX でご注文の際は上記ホームページの付属品購入の流れを参照のうえ、付属品注文票をダウンロードしてご利用ください。

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.09

パイオニア株式会社

〒113-0021

東京都文京区本駒込 2-28-8 文京グリーンコート